



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

キャリアアップMOTプログラム
2023年度エッセンシャルMOTコースのご案内



東京工業大学 環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程 実施

Tokyo Institute of Technology
School of Environment and Society
Technology and Innovation Management
CUMOT Program

CU

CUMOT

プログラムの概要 一年間の流れ

年間スケジュールと担当講師(予定)

月	講義名	担当講師	所属
4月	企業戦略とイノベーション(講義&演習)	辻本 将晴	東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授
5月	イノベーションのための知識工学(講義&演習)	梶川 裕矢	東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授
6月	デザイン思考(講義&演習)	齊藤 滋規	東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 / 融合理工学系エンジニアリングデザインコース 教授
7月	人財/組織マネジメント(講義&演習)	小田 理一郎	有限会社 チェンジ・エージェント 代表取締役社長
8月	ビジネスシミュレーション1 企業経営(グループ演習1)	白井 宏明	横浜国立大学 名誉教授
9月	ビジネスシミュレーション2 企業戦略(グループ演習2)	中野 健次	元 東京工業大学情報理工学院情報工学系 特任教授
10月	ファイナンス&アカウンティング(講義&演習)	杉山 慎治	ソニー生命保険株式会社 監査役
11月	連携型イノベーション戦略(講義&演習)	田辺 孝二	東京工業大学 名誉教授 / 環境・社会理工学院 特任教授
12月	ビジネスシミュレーション3 事業評価(グループ演習3)	名田 秀彦	インテグラート株式会社 執行役員 ソリューション事業部長
1月	事業開発・アントレプレナーシップ(講義&演習)	仙石 慎太郎	東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授
2月	知的財産戦略(講義&演習)	橋本 正洋	法政大学大学院 政策創造研究科 教授

※東工大技術経営専門職学位課程教員のプロフィール詳細は、http://educ.titech.ac.jp/isc/faculty/research_lab/ をご参照ください。

※スケジュールは科目の実施月の目安です。スケジュールの詳細は、

http://www.academy.titech.ac.jp/cumot/data/es/cumot_ES_2023-schedule.pdf をご参照ください。

※所属等は2022年12月現在のものです。

学習形態と1ヶ月間の流れ

学習形態は科目によって「講義&演習」と「グループ演習」の2パターンがあります。1科目の学習の流れは表のようになっております。※対面またはZoomを用いたオンライン講義形式を予定しています。科目によっては、一部、内容が変更される場合があります。

学習形態	1週目	2週目	3週目
講義&演習	各教科分野に関する基礎知識を受講し、課題が提示されます。		課題発表とQ&Aおよびディスカッション、講評を行います。課題発表を踏まえたまとめの講義なども行います。
(自己学習)	学習者は、自らの既得知識レベルや週末などの自由時間に合わせて推奨書籍やeラーニングコンテンツ等(学習環境は自己負担)によって個別学習をします。また、提示された課題を検討します。		
グループ演習	テーマごとにシミュレーションツールを用い、課題を提示し、グループ学習をします。	グループ別に課題を討議し、発表用資料を検討・作成します。さらに各自、週末などを活用して議論の質を高めながら、発表用資料を更新していきます。	発表&講評
(自己学習)	週末などの自由時間に各課題について各自、検討します。webベースで意見交換、ファイルの共有等を行います。		

コース担当教員からのメッセージ



辻本 将晴 教授

東京工業大学 環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程

プロフィール

慶應義塾大学総合政策学部卒業、同大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。博士(政策・メディア)。三和総合研究所(現三菱UFJリサーチ&コンサルティング)等を経て2010年4月東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科准教授。

メッセージ

本コースは、社会の方が働きながら、MOTのエッセンス、すなわち必須の知見と本質を学ぶことができるように構成されています。受講者の方々は講師からだけでなく受講生からも価値ある知見を得て、人脈を広げることができます。10年以上の間、高い評価を受け続けてきた本コースを是非受講してみてください。

コースコーディネーターからのメッセージ



古俣 升雄 特任准教授

東京工業大学 環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程

プロフィール

法政大学大学院経営学研究科キャリアデザイン学専攻修了(経営学修士)。人材育成・教育、コンサルティングの民間企業、早稲田大学客員研究員等を経て、2009年5月より東京工業大学イノベーションマネジメント研究科特任助教。2020年1月より現職。

メッセージ

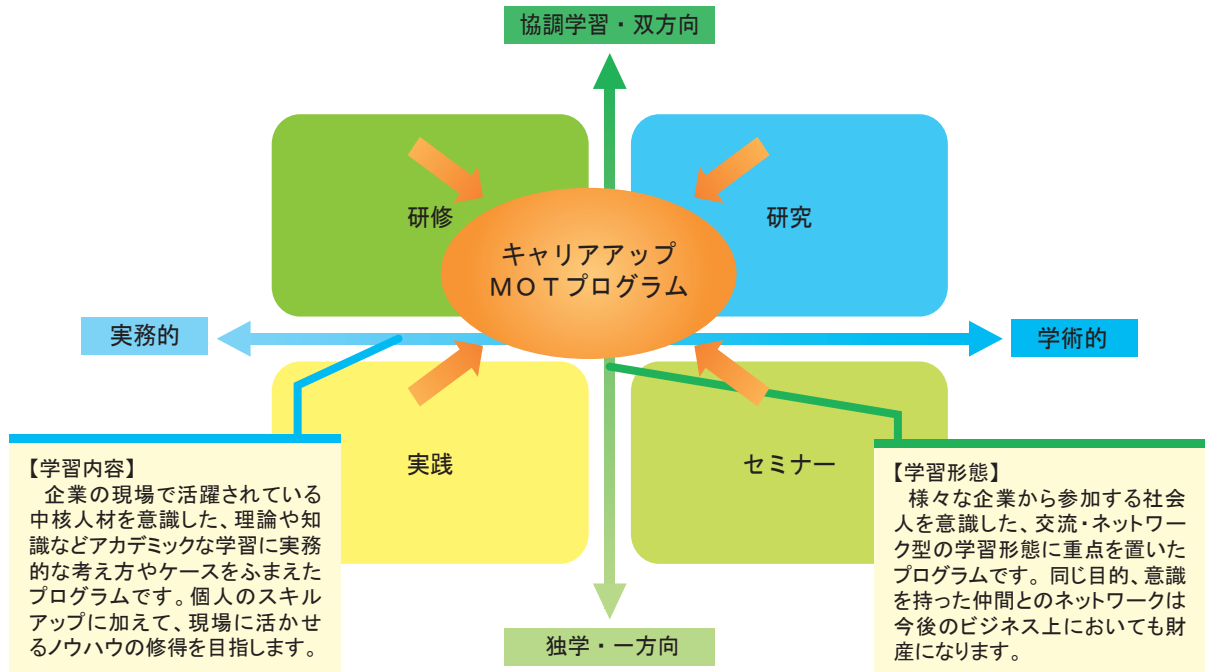
所属、役職、年代、専門性、文系・理系など、多様なキャリアを持つ社会人の方々が働きながらMOTを学び、自らのキャリア形成に活用しています。CUMOTでは学習者主体の学習形態を重視しており、高い学習意欲を持った多様性のある受講生同士の学びがより学習効果を高めます。「教わる」ではなく自ら「学ぶ」という意識をお持ちの方を歓迎します。

キャリアアップMOTプログラムの位置づけ

本プログラムの位置づけ

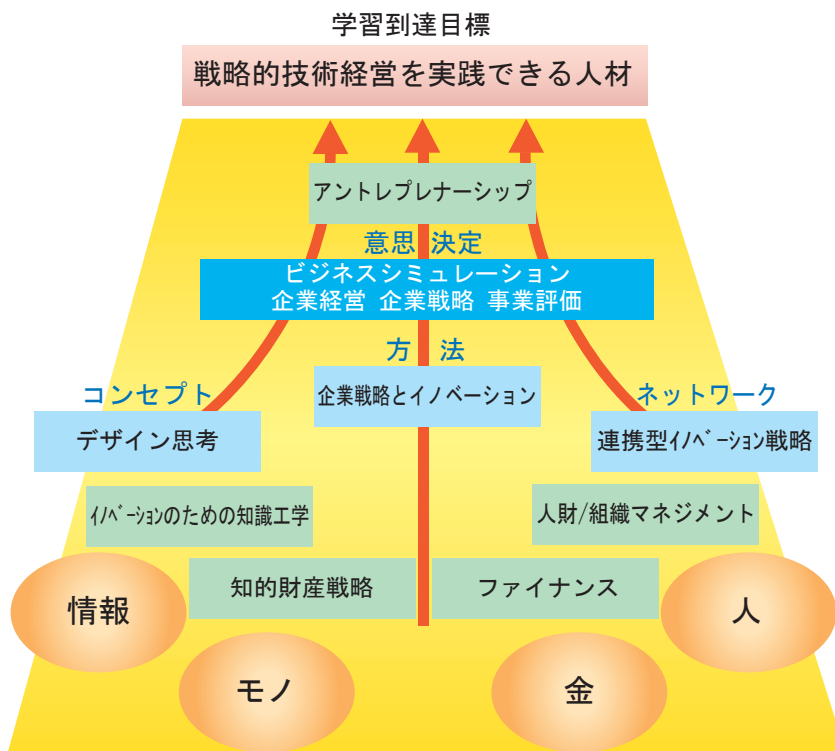
キャリアアップMOTプログラムは、本学の技術経営(MOT)教育ノウハウ、現場・実践を意識したカリキュラム(シミュレーション、ケース教材)、少人数制による質の高い講義と相互学習を通じて、次世代の企業経営を担う中核人材のキャリアアップを支援します。

「エッセンシャルMOTコース」の他、「知的財産戦略コース」など、MOTに関連する分野ごとのプログラムも提供しております。



カリキュラムマップと学習到達目標

エッセンシャルMOTコース



科目の学習目標の例(2022年度)

企業戦略とイノベーション

本科目の学習目標は3点です。第一は、経営戦略論という広範囲で複雑な分野の全体像を把握することです。第二は経営戦略論の各論についてのディスカッションを行えるようになることです。第三は経営戦略論の先端的な分野の一つであるエコシステム論について理解し、オリジナルな調査による発表とディスカッションができるようになることです。

事業開発・アントレプレナーシップ

本講義では、アントレプレナーシップと事業創成の実践論を扱います。第1回では、アントレプレナーシップの歴史的背景および意義とイノベーションへの効用について、経済学・経営学の視点から解説します。第2回では、大企業の事業開発部署、スタートアップ(ベンチャー)企業、インキュベータ、ベンチャー・キャピタル等の実務家の経験に基づいた、事業計画の立案における要点を解説します。第3回では、講義内容に基づき、事業計画をグループワーク形式で立案し発表する演習を行います。

ビジネスシミュレーション1 企業経営

コンピュータ上に構築された仮想の市場での企業経営を通じて、①PDCAサイクルの実施能力、②コンピュータツールの実践的活用能力、③グループディスカッション能力、④プレゼンテーション能力など、問題解決型人材に必要な実践的能力の向上を目指す。

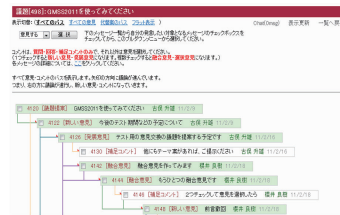
プログラムの特徴 学習支援システム/受講実績

講義中ならびに自己学習を支援するシステムです。

学習支援システム

グループ学習支援システム(GMSS:Group Memory Support System)は、Web上でディスカッションや意見交換ができ、インターネット環境があれば距離的・時間的制約を緩和できます。

あるテーマについて、グループを作成し、限定したメンバー内で、深くディスカッションすることができます。「議題」を提案し、その議題に対してグループメンバー間で意見交換を行います(発言する)。発言の際に「新しい意見」「融合意見」など発言内容の種類を選択することになっており、これにより議論が構造化(可視化)されます。限られた学習環境において学習利便性を高めます。



学習環境のフォロー

【補講用eラーニング】

エッセシャルMOTコースでは、講師の了解をいただいた科目においては、グループ課題への対応等を考慮しまして欠席者用にwebでみられる補講用のeラーニングをご用意しています。

【Zoomによるオンライン受講】

エッセシャルMOTコースでは、Zoomを用いたオンライン受講を併用して実施します。



受講実績

【受講者層のご紹介】

これからマネジメントを担っていく若手から、経営者として活躍されている方など技術経営のエッセンスを体系的に学びたい社会人の方が参加しています。

所属先は大手企業にお勤めの方が6~7割、中小・ベンチャー企業にお勤めの方が3~4割です。業種は製造業、サービス業、コンサルタント業などで、職種も経営者、マネージャー、研究職、企画職など多岐に渡ります。

MOTの学びを通じて仕事上の課題解決や自らのスキルアップを図るなど、高い学習意欲を持つ方々が参加しており、受講生同士の交流はお互いの刺激にもなっています。

【受講者の声】(受講アンケートより)

- ・講義内容が多岐に渡っていたため、視野が広がったと実感している。受講した講義の中で興味を持った分野に関しては、知識を深めるために学習を継続している。
- ・MOTが俯瞰できるようになり、自分の会社への適用が考えられるようになった。
- ・一般論だけでなく実際の事例と結び付けて話をしていただいたので仕事にフィードバックすることができた。
- ・とくにグループディスカッションでは密度の濃い議論ができて、効果的に結論に近づくことができ、今後の課題も出てきた。職種の違う方からの意見が自分の視野を広げるのに役立ち、大変満足している。
- ・学習支援システム(GMSS)は、議論のパスが見えたお蔭で、議論の流れがとてもわかりやすかった点がよかった。
- ・現在携わっている業務とは全く違う分野の話も多く、大変刺激になりました。これから先、何か新しい分野(勉強でも仕事でも)に挑戦していく勇気をいただいたと思います。今すぐとりかかれなくても、視野を広げることができ、これから先、物の見方、考え方など参考になることが多かったと思います。

アンケート結果 (受講経験者平均 n 141)	5段階評価
「エッセシャルMOT」の授業の総合的な満足度はどのくらいですか。	4.2
「エッセシャルMOT」の授業で学んだことが今後自分の業務に役立つと考えていますか。	4.3
キャリアアップMOTとして働きながら技術経営を学ぶことは、ご自身のキャリア形成※に影響があったと思いますか。 ※昇進や転職などに限らず、職業や働き方に対する考え方の変化も含めます。	4.4

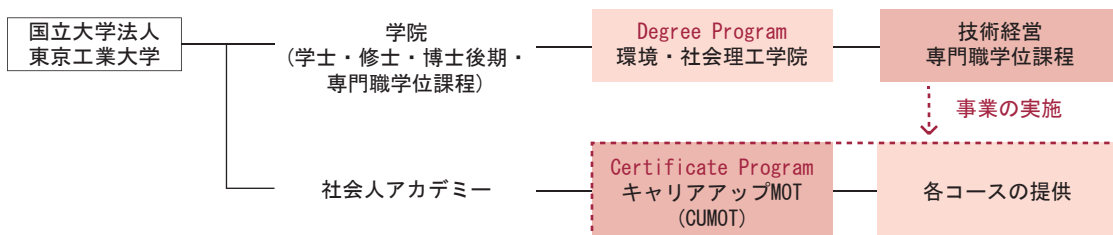
環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程とは

2005年4月に大学院イノベーションマネジメント研究科(MOT専門職大学院(専門職学位課程(修士)・技術経営専攻/博士後期課程・イノベーション専攻)が創設されました。2016年4月の本学の教育改革に伴い、技術経営専攻は環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程となりました。同課程では、技術や経営に関する卓越した知を創造し、新規事業やプロジェクトを戦略的に設計・立案し実行していく実務家、科学・技術知の創造を促し、科学・技術知の社会化・産業化を通じて豊かな社会を実現するイノベーターを養成します。

※詳細は下記のURLよりご覧ください。
<http://educ.titech.ac.jp/isc/>

実施体制・プログラム修了の認定

キャリアアップMOTプログラムは東京工業大学社会人アカデミーのもと、環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程が事業主体となり運営いたします。

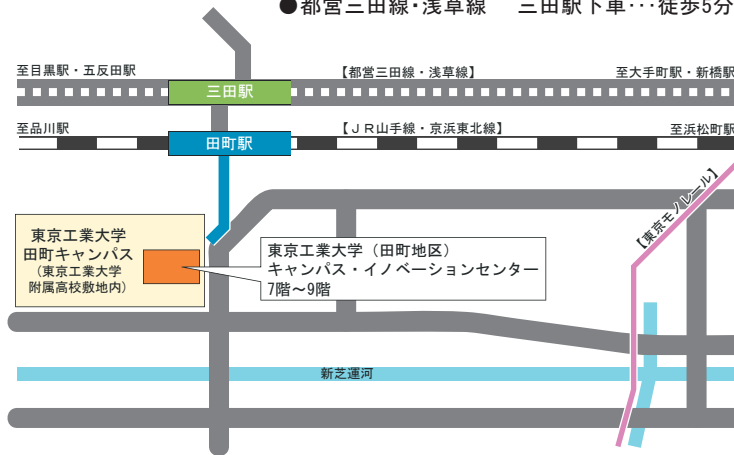


交通案内

■ 田町キャンパス

所在地: 〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
 キャンパス・イノベーションセンター

- JR山手線・京浜東北線 田町駅下車…徒歩1分
- 都営三田線・浅草線 三田駅下車…徒歩5分



キャンパス・イノベーションセンター

※各キャンパスの詳細は下記のURLよりご確認ください。
<http://www.academy.titech.ac.jp/cumot/access.html>



東京工業大学 環境・社会理工学院
 技術経営専門職学位課程
 CUMOT

URL: <http://www.academy.titech.ac.jp/cumot/>
 E-mail: cumot-info@mot.titech.ac.jp

<2022年12月作成>

プログラム説明会(Web配信)

エッセンシャルMOTコース(2023年度)の説明会をwebで配信いたします。

申込方法: 問い合わせフォームにアクセスし、「エッセンシャルMOTコースについて」を選択し、必要事項を入力の上、「問い合わせ内容」で、「説明会視聴希望」としてお送りください。視聴に必要なIDと資料(PDF)をお送りします。メール([cumot-info\[at\]mot.titech.ac.jp](mailto:cumot-info@mot.titech.ac.jp))でのお申込みも可能です。※年末年始の期間(2022.12.24~2023.1.4)は説明会のご案内が遅れる場合があります。